

可児市民栄誉賞第1号に彫刻家の神戸峰男さん

昨年7月新たに創設された可児市民栄誉賞の第1号に、彫刻家で日本芸術院会員の神戸峰男氏を選定し、12月24日(火)に市役所で表彰式を開催しました。

神戸氏は昭和19年生まれの69歳で、平成11年より可児市久々利に在住。現在、名古屋芸術大学教授で美術学部長もつとめられています。彫刻の分野において数々の賞を受賞するとともに、海外でも広く活躍され、近年は、平成18年に日展文部科学大臣賞、平成20年に日本芸術院賞を受賞、平成24年には岐阜県在住者初の日本芸術院会員に就任されました。

7・15豪雨災害を契機に同氏が制作したブロンズ像「丘」は、『自然と人の共生モニュメント「丘』』として、可児市が平成24年、土田の虹ヶ丘橋付近に建立しました。



可児市民栄誉賞とは

文化・芸術やスポーツ、その他の分野において、世界的な規模の競技会やコンクールなどで最高の成績またはそれに準ずる成績を取めたり、権威ある賞を受賞するなど、広く可児市の名声を高める功績があった市民または本市に縁りの深い個人若しくは団体に対して贈られます。

広
告

